

ね
ら
い

- 市民……立川市立小・中学校の教育実践を知り、学校教育への理解を深める。
- 学校……平成 29 年度における立川市民科等の取組を共有化し、平成 30 年度の教育実践に生かす。
- 市民・学校…講演会を通して、学校教育及びコミュニケーションの大切さについて理解を深める。

平成 29 年度テーマ
主体的・対話的で深い学び
～立川市民科の取組をとおして～

立川市民科

立川市民科の理念は、まさに主権者教育であり、郷土学習、キャリア教育を踏まえ、すすんで地域やまちの行事や活動等に関わることにより、郷土やまちを愛する心情や態度、優れた伝統の継承と新しい文化の創造に貢献する力を養う。全校での「多摩・武蔵野検定」の受検、「応急救護・普通救命講習」の受講を進めている。

児童・生徒実践発表①

立川市児童会サミット
立川市中学生生徒会サミット

目的

○他校生との交流や討議を通して児童・生徒の自立と自律を図り、立川市民としての資質・能力を育成する。



児童・生徒実践発表②

立川市・大町市姉妹都市
中学生サミット

目的

○大町市の中学生と共に姉妹都市交流事業に主体的に取り組むことを通して親睦と相互理解を深めるとともに、両市の一層の親善友好を図る。



児童・生徒実践発表③

羽衣プロジェクト

目的

○立川市民科の一環として、地域にある 2 軒の銭湯に注目し、銭湯のよさを体験を通して学ぶとともに地域に発信する。



児童・生徒実践発表④

中学生の職場体験

目的

○仕事を体験することにより“望ましい勤労観や職業観、を身に付けさせる。
○学校とは違う社会で学ぶことにより、社会性やマナー、を身に付けさせる。
○職場の方々やお客様、利用者等、多くの方々との関わりを通して“コミュニケーション力、を身に付けさせる。

表彰

職場体験
協力事業所表彰

目的

○長年にわたり職場体験に協力し、中学生の育成や学びに大いに貢献した事業所等に謝意を示し、継続した協力を願う。

「主体的・対話的で深い学び」の基盤となる人間力・コミュニケーション能力の育成

講演会「主体的・対話的で愛のある学びーコミュニケーション能力育成の視点からー」

講師 平田オリザ 氏 (演劇評論家・演出家)

立川市は、18 万の市民のうち、毎年 1 万人が転入・転出する流動性の大きい人口構造となっています。そのため、自治会の組織率の低下や孤立死問題などコミュニティの希薄化が懸念されています。生まれ育った地域における体験的な学びを通して地域に愛着をもち、そこで息づく人を大切にするという人の基本となる「構え」を身に付けることが、子どもたちがやがて大人となって世界で活躍するとき、必要となるものと考えています。「構え」の基盤となるのはコミュニケーション能力です。平田オリザ先生には、演劇評論家、演出家としてのご経験を基に、コミュニケーションの大切さを中心にご講演いただきます。

<平田オリザ 氏 プロフィール> 演劇評論家、劇作家、演出家。劇団「青年団」主宰。戯曲の代表作に「東京ノート」「ソウル市民」三部作など。小説「幕が上がる」は 2015 年に映画化された。現代口語演劇理論の提唱者で、自然な会話とやり取りで進行していく「静かな演劇」の作劇術を定着させた。著書多数。現在、東京芸術大学アートイノベーションセンター特任教授、四国学院大学客員教授などを務める。

日 時：平成 30 年 2 月 17 日 (土)
午後 1 時 30 分開始
会 場：立川市市民会館
(RISURUホール)大ホール

「立川教育フォーラム」とは…

平成 16 年度から、立川市の教育の充実と推進を図るため、保護者、市民、教職員が一堂に会して、市立小・中学校の実践等を紹介する場として、立川市教育委員会が毎年実施しています。
平成 28 年度テーマ「楽しい!安心!みんなの学校」
平成 27 年度テーマ「進んで体を動かし、豊かに関わり合う子を育む」
平成 26 年度テーマ「子どもたちの豊かな人間関係を築くための取組」